

[施策 2 5 教育環境]

[施策総合評価]

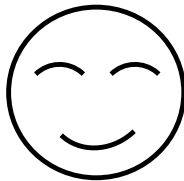
Ⓑ (8.6点)

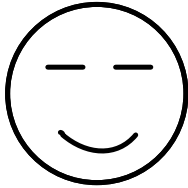
[目指す姿]

小・中学校では、安全で快適な施設環境の下で、児童、生徒が充実した教材を活用し、生き生きとして学習に取り組んでいます。

また、各種の就学援助制度により、経済的に安心して就学できる体制が整っています。

[まちづくり指標]

指標 1 学校の太陽光発電・緑化ウォール等の設置率		現状値						目標値(年度)	
①	単位:% (担当課調)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
			—	—	—	11.8	35.2	52.9	20
(指標の説明) 環境教育の一環として、学校に太陽光発電設備や壁面緑化などを進めます。現在市内の学校 17 校中 2 校に太陽光発電設備が設置されており、エコへの関心度を促すため様々な設備を設置していく進捗率です。									
(現状と課題) 小学校 1 校、中学校 1 校に太陽光発電を設置するとともに、緑化ウォール等を実施するなど、学校の環境対策に取り組んでいます。施設の老朽化も顕著であり、施設改修と併行して進める必要があります。									
(進捗度ランク) 進捗度 107.6% 順調 									
(今後の方策) エコへの関心度を促すための様々な施策の検討を進めます。									

指標 2 普通教室等の電子黒板整備率		現状値						目標値(年度)	
単位:% (担当課調)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32	
	—	—	—	3.1	39.1	44.6	50	100	
②	(指標の説明) 電子黒板の整備を行い I C T (※1) の推進に努めています。平成 22 年 4 月現在に整備を行ったテレビの電子黒板化率は 3.1% でしたが、同年度末は 10.2% となりました。								
	(現状と課題) 情報化により学校教材が著しく進化している中で、I C T (※1) を活用した分かりやすい授業方法や、児童、生徒が興味を持ってコンピュータに触れ、慣れ親しむことができる有効な機器の導入検討に当たっては、常に学校現場と連携して取り組む必要があります。								
	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 42.8% やや順調								
									
(今後の方策) 情報機器等を活用することで、児童、生徒が理解しやすく、意欲的に授業に取り組むことができるよう、それぞれの場面に応じた有効な機器の整備を教育研究部門と連携して進めます。									

(※1) I C T

情報通信技術を活用したコミュニケーション、情報・知識の共有をより強調した表現。(Information & Communication Technology の略)

[内部評価]

255101 小学校施設整備事業

総合評価 9点

良好な教育環境の維持確保には欠かせない施策であるので、限られた財源の中で、さらに効率的、有効的、計画的に実施されるよう努めるべきである。

255104 中学校施設整備事業

総合評価 9点

良好な教育環境の維持確保には欠かせない施策であるので、限られた財源の中で、さらに効率的、有効的、計画的に実施されるよう努めるべきである。

255116 小学校施設維持補修事業

総合評価 8点

良好な教育環境を維持するために、当該事業は必要不可欠であり、計画的に有効性の高い執行が望まれる。

255118 中学校施設緑化推進事業

総合評価 7点

この事業は、相互提案型協働事業として、採択されたものであるから、今後も事業の様子を見る必要がある。

255122 小学校学校図書整備事業

総合評価 8点

読書の形態が、本から電子書籍と移り変わろうとしている中で、将来的な視点で今後のあり方等について、検討が望まれる。

255134 中学校学校図書整備事業

総合評価 8点

読書の形態が、本から電子書籍と移り変わろうとしている中で、将来的な視点で今後のあり方等について、検討が望まれる。

255140 中学校施設維持補修事業

総合評価 8点

良好な教育環境を維持するために、当該事業は必要不可欠であり、計画的に有効性の高い執行が望まれる。

255195 小学校普通教室等空調整備事業

総合評価 9点

施設の耐震化や便所改修など他の事業と優先性の検討をしながら、平成26年度の事業完了に向けて計画的に進めていく必要がある。

255196 中学校普通教室等空調整備事業

総合評価 9点

施設の耐震化や便所改修など他の事業と優先性の検討をしながら、平成26年度の事業完了に向けて計画的に進めていく必要がある。

255216 小学校パソコン機器導入推進事業

総合評価 8点

I C T時代に適応できるよう、基本的な学習をとおして、情報活用能力を身に付けるうえで、効率的かつ効果的な内容で進めるべきである。

255219 中学校パソコン機器導入推進事業

総合評価 8点

I C T時代に適応できるよう、基本的な学習をとおして、情報活用能力を身に付けるうえで、効率的かつ効果的な内容で進めるべきである。

255222 小学校情報通信技術環境整備事業

総合評価 8点

I C T社会において、適応できるように「情報適応能力」を身に付けるための環境整備に必要な事業である。

255225 中学校情報通信技術環境整備事業

総合評価 8点

I C T社会において、適応できるように「情報適応能力」を身に付けるための環境整備に必要な事業である。

255301 私立幼稚園就園奨励事業

総合評価 8点

小学校入学前の幼児教育の重要性から保護者への負担を軽減することは必要であるが、国及び市のそれぞれの役割の範疇や、幼児教育を必要とする主体の実態をよく整理するなかで、市の単独負担分について検討すべきである。

255313 高校進学資金貸付事業

総合評価 7点

就学の機会が確保され、学習環境が整うことから重要な事業であり、その必要性は高い。

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	75.6%	24位/52施策
重要度	7%	20位/52施策

[施策 2 6 学校保健]

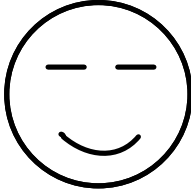
[施策総合評価]

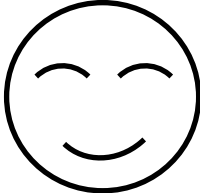
Ⓑ (8 . 9 点)

[目指す姿]

子どもたちは、各種健康診断の実施や安全、安心で栄養バランスの取れたおいしい給食を食べることにより、健康保持、健康増進が図られ、衛生的な環境の下、心身ともに健康な学校生活を送っています。

[まちづくり指標]

指標 1 肥満・やせ傾向率		現状値						目標値(年度)	
単位:% (担当課調)		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
			—	—	10.4	10.4	9.9	9.3	9.3
①	(指標の説明) 肥満傾向の児童、生徒は、高血圧、高脂血症など、将来の糖尿病や心臓病などの生活習慣病につながるものが心配されます。また、思春期にはダイエットのため食事の量を減らす無理な減量をするなどの傾向が見られます。 この指標は、全児童、全生徒に対する肥満ややせ傾向の児童、生徒の割合を示しています。								
	(現状と課題) 近年、偏食や食生活の乱れ、運動不足などにより、肥満傾向の児童、生徒が増加しています。各種健康診断を実施し、健康の保持、増進を図っています。								
	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 55% やや順調								
									
(今後の方策) 食育の実施や診断結果に応じた対応を行い、生活習慣病などの予防を図ります。									

指標 2 小学校給食残食率		現状値						目標値(年度)	
単位:% (担当課調)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32	
	—	—	3.3	3.4	2.8	2.4	3.0	2.7	
②	(指標の説明) 学校給食摂取基準による栄養管理された給食であっても残食が多ければ、児童の健全な発育を支えることができません。栄養バランスの取れたおいしい給食は、健康保持、増進につながります。 この指標は、学校給食の食べ残しされた割合を示しています。								
	(現状と課題) 小学校給食の実施により、安全、安心で栄養バランスのとれた豊かな食事を提供しています。 また、食に関する指導も行っています。								
	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 150% 順調								
									
(今後の方策) 食中毒の予防など、学校給食における安全・衛生管理の徹底や食育の実施、郷土料理の提供など、安全、安心でバランスの取れた豊かな食事の提供を行います。									

[内部評価]

265101 児童健康管理事業

総合評価 9点

健康管理は、学校教育における重要な部分であり、学校嘱託医による各種健康診断の実施は、必要不可欠である。

265104 生徒健康管理事業

総合評価 9点

健康管理は、学校教育における重要な部分であり、学校嘱託医による各種健康診断の実施は、必要不可欠である。

265207 学校教育管理経費

総合評価 9点

学習効果を高めるため、少人数指導やチームティーチング指導には一定の職員配置が必要である。また、療休等の代替え職員を確保・配置することは必要不可欠である。今後、効率的な人員配置に努め、より効果が得られるようにする必要がある。

265301 学校給食運営管理事業

総合評価 8点

児童の健康増進、体位向上、正しい食生活習慣の形成には有効である。また、今後の学校給食のあり方等の検討を踏まえながら、事業を推進する必要がある。

265304 学校給食施設整備事業

総合評価 9点

安全で質の高い学校給食の継続には、必要不可欠であるが、学校給食調理業務の直営、委託についての検討部会での調査、検討を踏まえて、効率性、有効性の高い整備を図る必要がある。

265307 学校給食備品整備事業

総合評価 9点

食の安全確保、円滑な学校給食の運営には、給食備品の順次更新を図る必要性は高い。

265404 教職員互助会補助事業

総合評価 7点

教職員の健康維持・増進のために必要な事業である。

265501 要保護及び準要保護児童援助事業

総合評価 9点

就学困難な児童の保護者に対する経済的援助をすることにより、教育を受ける機会均等に貢献できる施策である。

265504 要保護及び準要保護生徒援助事業

総合評価 9点

就学困難な児童の保護者に対する経済的援助をすることにより、教育を受ける機会均等に貢献できる施策である。

275316 特別支援教育就学奨励等事業

総合評価 9点

経済的理由による就学困難な児童・生徒世帯への支援は、教育の機会均等の趣旨から必要性が高い。

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	62.6%	40位/52施策
重要度	6.3%	26位/52施策

[施策 2.7 教育活動]

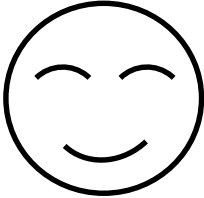
[施策総合評価]

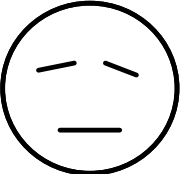
Ⓑ (8.4点)

[目指す姿]

子どもたちは、家庭・学校・地域の中で各々の個性を尊重し、ともに学び合うことを通して一人ひとりが豊かな心をはぐくみ、生きる力を培い、明るく元気な生活を送っています。

[まちづくり指標]

指標 1 地域の人材活用実績		現状値						目標値(年度)	
単位:人 (担当課調)		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
			—	—	1,500	1,770	1,344	1,799	1,700
(指標の説明) 地域に在住・在勤する知識・経験豊かな人たちに、各教科・領域及び総合的な学習において指導、協力をいただくことで、特色ある教育、特色ある学校づくりを進めています。この指標は、年間のその延べ協力者数を示しています。									
(現状と課題) 児童生徒の「生きる力」を育成するために、地域の人材を活用することで、体験活動を重視した教育を進め、ともに学び合い、豊かな心をはぐくんでいます。座間らしい取り組みを検討し、一層の充実に努めます。									
①	(進ちよく度ランク) 進ちよく度	74.8%	順調						
(今後の方策) 学習指導要領の改訂に伴い、総合的な学習の時間の授業時数が減(30%程度)になりましたが、地域の人材を活用し、地域と連携した教育活動は、ますます重要になります。今後も、地域や学校で開催される行事やボランティア活動を通して、地域との連帯感の醸成を図り、より多くの方に学校で指導・協力いただくよう、学校から地域に向けて発信を強化します。									

指標 2 情報化社会、国際化社会など社会の変化に対応した教育が進められてきていると思う市民の割合		現状値						目標値(年度)	
単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32	
	—	—	—	16.9	—	15	35	60	
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、16.9%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 60%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 児童生徒の「生きる力」を育成するために、変化の激しい社会で必要とされる知識・技能のひとつである情報活用能力やコミュニケーション能力の育成のため、I C T機器や外国人英語講師の派遣等の環境を整えています。									
②	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta 4.4\%$ もう一歩								
(今後の方策) I C T機器の整備及び外国人英語講師を派遣する等の人的支援を着実に推進していきます。また、市民の理解を図るために、学校開放期間に保護者や地域住民に呼びかけ来校を促す等、学校の教育活動への理解を深めていけるよう、学校から地域に向けて発信を強化します。									

[内部評価]

275122 豊かな心育成推進事業

総合評価 8点

学校教育環境における、いじめ、暴力、不登校といった問題行動を改善するために、楽しい学校生活を送るためのアンケート（QU）は必要なツールである。

275207 こころ・ときめきスクール推進事業

総合評価 9点

地域とのつながりの中で特色のある教育、学校づくりを進めることは、児童生徒の個性を生かし、人格形成への寄与を図るうえで、有効な施策である。

275301 学校安全対策事業

総合評価 9点

児童・生徒を対象とした凶悪犯罪の増加に対する安全確保は、喫緊かつ重要な施策であり、学校安全対策指導員の設置による学校内外の巡回や学校安全対策に対する指導等で、効果を上げていることは評価できる。今後も継続して、地域による安全パトロールを実施していく必要がある。

275304 中学校部活動指導者派遣事業

総合評価 8点

専門的技術を有する外部の人材活用を推進し、部活動の一層の充実を図ることは、生徒の基礎体力の向上や健全育成の上から必要である。また、今後も引き続き、県費補助に対して要望していく必要がある。

275313 特別支援教育事業

総合評価 9点

学習障がい等を持つ児童・生徒への個に応じた教育支援、援助は、必要性が高い。

275401 小学校外国語教育推進事業

総合評価 9点

小学生からの英語教育は、国際理解への関心・意欲を高めるなど、有効性は高く、さらに推進すべきである。

275404 中学校外国語教育推進事業

総合評価 9点

中学校における会話を主とした生の英語教育は、今日の国際社会への対応の面で不可欠であり、さらに充実させるべきである。

275407 外国人子女日本語指導等協力者派遣事業

総合評価 8点

グローバルな社会が進む中で外国人児童生徒を受け入れるためには、日本語習得は学校教育を進めていく上及び日本社会での生活に欠かせないことから、必要性は高い。

275501 レッツトライひまわり環境ISO推進事業

総合評価 8点

地球温暖化防止など環境保全に対する児童・生徒への環境教育の取り組みとして、必要性は高い。

275504 教育研修事業**総合評価 9点**

教職員の研修は、本人の資質の向上には欠かせないものであり、児童生徒への質の高い教育活動へつながることからも、その必要性は高い。

275510 教育研究事業**総合評価 8点**

今日的な教育に関する基礎・専門的な分野での課題などを調査研究し、教育課程に反映することなどその必要性・優先性は高い。

275516 教職員研修事業**総合評価 9点**

教職員としての資質の向上や指導力の向上は、児童生徒への質の高い教育活動へつながることから必要性が高い。

275522 教育史編さん事業**総合評価 9点**

座間の教育史に関する歴史的価値をもつ資料について、後世に伝えるために収集、整理する意義は大きい。

275601 教育相談事業**総合評価 10点**

児童生徒の教育環境を取り巻く社会情勢の中で、教育相談事業は一定の成果をあげており、今後においても、さらに充実を図る必要がある。また、保護者・児童生徒・教師が一体となって問題解決していく姿勢も必要である。

275604 適応指導教室事業**総合評価 9点**

不登校児童・生徒の集団生活への適応指導は、今日の重要な課題である。本市では有効適切な指導の面で成果を上げているところであり、その必要性は高い。

[外部評価]**アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）**

関心度	71.4%	26位/52施策
重要度	9.3%	15位/52施策

外部評価委員（評価・提言 H25年1月実施）

「こころ・ときめきスクール推進事業」などの地域に開かれた学校づくりを進めることで、市民の学校教育に対する理解を深め、地域社会との連携や協力を引き出す施策を展開し、家庭・学校・地域で子どもたちを育てる機運を高めていく必要がある。

外部評価（外部評価委員）に対する対応

「こころ・ときめきスクール推進事業」を推進することは、地域の教育力を学校の教育活動に活用することになるので、学校と地域の連携を深めたり、児童生徒が郷土を大切にすることを育んだり、特色ある学校づくりに大きな役割を果たすと考えます。これからもより多くの方が学校教育に協力いただくことで、座間の子どもたちの豊かな心が育まれるようにします。

[施策 28 生涯学習]


[施策総合評価]

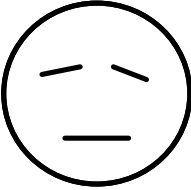
◎ (6.8点)

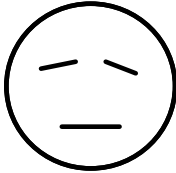
[目指す姿]

市民は、自ら関心のある生涯学習や社会の要請にこたえた学習に積極的に取り組み、その成果を生かした豊かな生活を送っています。

[まちづくり指標]

指標 1 公民館・地区文化センターの講座受講者数		現状値						目標値(年度)	
	単位:人 (担当課調)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
		—	—	5,703	4,985	4,293	4,586	6,000	7,000
(指標の説明) 公民館及び地区文化センターで開催する講座等の年間延べ参加者数を示しています。									
(現状と課題) 乳幼児を持つ親のための学級や高齢者を対象とした学級、身近な環境や暮らしの福祉を考える講座等の社会教育事業を展開しています。市民の学習ニーズの広がりや生活形態の多様化に応えるには、講座の持ち方を工夫することが求められています。									
①	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta 86.1\%$ 頑張ろう 								
	(今後の方策) 地域の課題を取上げたり、日中参加できない方々を考慮する講座では、講座の企画段階から市民と協働していくなど、今後とも各世代を対象とした事業を開催し、市民生活が豊かで潤いあるものとなるように取り組みます。								

指標 2 図書館貸出利用者数		現状値						目標値(年度)	
単位:人 (担当課調)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32	
	—	—	240,764	237,780	230,356	227,397	250,000	280,000	
②	(指標の説明) 年間の図書館の本館、公民館図書室などでの図書資料の延べ貸出利用者数を示しています。								
	(現状と課題) 本館及び公民館3館の図書室において、図書の貸出しや、様々な資料等情報の収集・提供を実施し、利用しやすく、親しまれる図書館運営に努めています。 さらに、おはなし会やブックトークを通して、子どもたちに読書の楽しみについて教育しています。 しかし、近年は図書貸出し者数の減少が見られます。								
	(進捗度ランク) 進捗度 $\Delta 34.1\%$ もう一歩 								
	(今後の方策) 近年、利用者数の減少が見られます。今後とも、限られた予算で魅力ある図書の購入に努め、さらに、インターネットや携帯電話による蔵書検索や予約、DVDの貸出しの事業を周知し、さらなる利用者の増加を図ります。								

指標 3 「いつでも、どこでも、だれでも学べる」という生涯学習の環境が整備されてきていると思う市民の割合		現状値						目標値(年度)	
③	単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
		—	—	—	31.3	—	28	35	40
	(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、31.3%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 40%に高めることを目標として設定しています。								
	(現状と課題) 公民館と二つの地区文化センターでの講座・学級や、市民大学講座、生涯学習宅配便、市民自主企画講座等を行っています。また、サークルの立ち上げや支援などを行い、継続した活動ができる環境を作るよう努めています。								
	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta 37.9\%$ もう一歩								
									
(今後の方策) 生涯学習施設の整備、社会教育事業の推進、学習情報の提供を行い、生涯学習環境の整備に努めます。									

[内部評価]

285103 座間市公民館学級・講座開設事業

総合評価 9点

高齢化社会になり、市民の自由時間が増えるとともに生涯学習意欲は高まっており、学習の場を提供する必要性は高い。しかしながら、目標と成果を検証するとともに、事業効果を高める必要がある。

285105 市民大学運営事業

総合評価 9点

大学の特色を生かした学習機会を提供することは、生涯学習プランにおけるリカレント教育の推進に必要な施策である。また、受講料、テキスト代の受益者負担等について、一定の見直しを図ったことは評価できる。今後、大学の公開講座との連携など講座の有効性について検討する必要がある。

285107 北地区文化センター学級・講座開設事業

総合評価 9点

高齢社会になり、市民の自由時間が増えるとともに生涯学習意欲は高まっており、学習の場を提供する必要性は高い。しかしながら、目標と成果を検証するとともに、事業効果を高めるよう努力が必要である。

285109 東地区文化センター学級・講座開設事業

総合評価 9点

高齢社会になり、市民の自由時間が増えるとともに生涯学習意欲は高まっており、学習の場を提供する必要性は高いが、目標と成果を検証し、事業効果を高める努力が必要である。

285117 生涯学習フェスティバル開催事業

総合評価 8点

広く活動の発表の場があることは、市民の学習意欲の啓発、地域に根ざした生涯学習の推進に必要な施策である。実行委員会方式により市民参加に努めるなど一定の成果は認められるが、さらなる創意工夫をもって市民の参加を増やすよう努める必要がある。

285121 座間市公民館設備整備事業

総合評価 8点

施設が安全で、利用者の事故がなく快適に利用できる環境を整備するための事業として必要である。

285123 北地区文化センター設備整備事業

総合評価 8点

施設利用者が安全・快適に利用できるように、普段から施設整備の点検や維持管理に努める必要がある。

285125 東地区文化センター設備整備事業

総合評価 8点

施設利用者が安全・快適に利用できるように、普段から施設整備の点検や維持管理に努める必要がある。

285147 東地区文化センター調理実習室整備事業

総合評価 8点

ガス設備等、特に安全に配慮しなければならない設備であり、常日頃からの点検・修繕は必要である。併せて、実習等の性格上、今日的な設備環境を導入することが求められる。

285161 図書館資料整備事業**総合評価 9点**

市民の自主的な学習意欲の向上、多様、高度化される要求に応えるような豊富な図書資料の提供に努めることの必要性は高いが、広域での図書の活用など一層の効率化に努める必要がある。

285171 図書館フロアワーク事業**総合評価 8点**

図書館利用者等への案内や、返却された本の整理等が常時行われるようになり、図書の回転率アップも期待が持てる。

285201 家庭教育推進事業**総合評価 9点**

核家族化が進む中、当該事業の必要性は高いが、他事業との重複も含めて、事業効果、効率性を検証する必要がある。

285301 市民自主企画講座開設事業**総合評価 7点**

協働のまちづくりを進めるためにも自らが課題を見出し講座を企画することは、学びあうコミュニティの醸成には必要であり、社会の要請に応えた講座など期待できる部分もあるので必要性はある。

285404 社会教育指導員設置事業**総合評価 8点**

協働のまちづくりを進める上で、学びあうコミュニティのコーディネーター役としての役割は大きく、住民相互の学習の支援や企画立案の活動に必要である。

285507 図書館運営事業**総合評価 8点**

地域の文化情報拠点として、子どもから高齢者対象に多様な取り組みを行っている。今後、IT化社会の中で、ITなどを活用した、より効果的な運営を進める必要がある。

[外部評価]**アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）**

関心度	69.9%	28位/52施策
重要度	6%	27位/52施策

[施策 2.9 市民文化]

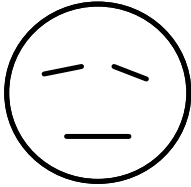
[施策総合評価]


◎ (6.6点)


[目指す姿]

市民は、芸術文化を親しみ豊かな生活を営むとともに、地域の歴史や文化財への関心を高め、次世代に伝える活動に取り組んでいます。

[まちづくり指標]

指標 1 何らかの芸術文化活動を行っている市民の割合		現状値						目標値(年度)	
①	単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
			—	—	—	20	—	19	25
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「している」と回答した市民の割合は、20%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 30%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 市民は心の豊かさや生きがいなど精神的な充実を求めるとともに、芸術文化に対する関心を持ち、日常生活にうるおいを求める傾向にあります。したがって、市民が満足できる芸術文化のレベルアップにつながる事業展開を継続的に行っていく必要があります。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 Δ10% もう一歩									
									
(今後の方策) 市民の芸術文化意識の向上とスキルアップを図ると同時に、市民の自主的な芸術文化活動が行える機会を提供し、芸術文化活動の充実と文化団体の育成支援に努めます。									

指標 2 市民文化会館の利用者数		現状値						目標値(年度)	
単位:人 (担当課調)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32	
	—	—	228,010	219,815	214,346	219,040	240,000	250,000	
(指標の説明) 1年間の市民文化会館の利用者総数を指標として設定しています。									
(現状と課題) 優れた芸術文化に触れる機会の提供と市民の自主的な文化活動の場として、コンサートや展示会などを開催しています。より多くの市民に利用されるよう運営の充実を図る必要があります。									
②	(進捗よく度ランク) 進捗よく度 $\Delta 40.8\%$ 頑張ろう								
									
(今後の方策) 芸術文化活動の拠点として、施設の計画的な整備と維持管理及び運営の充実により、指定管理者の能力を生かせる環境づくりを行い、市民ニーズの把握に努め、より多くの方に利用されるよう運営の充実を図ります。									

指標 3 「大風揚げ」など歴史・伝統文化が保存・継承されてきている と思う市民の割合		現状値						目標値(年度)	
単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32	
	—	—	—	80.9	—	74.3	83	85	
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、80.9%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 85%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 市内の指定重要文化財保持者や民俗芸能継承団体を中心に、伝承や周知、適正な管理保存について支援を行っていますが、進行する都市化と少子高齢化の中で、後継者育成の活性化や資料の公開・活用などを図っていく必要があります。									
③	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 Δ161% 頑張ろう								
									
(今後の方策) 祭囃子などの身近な伝統芸能や、田舎歌舞伎の入谷歌舞伎については、後継者育成に関わる活動と公演会場の確保などの支援や、公演会のPRをより広範に行う必要性があります。また、有形の文化財については、文化財めぐりの実施とともに、郷土講演会等の開催、市ホームページでの公開やハーモニーホール座間の常設展示室を活用した展示活動を行い積極的なPRを行います。									

[内部評価]

295101 市民文化会館管理運営事業

総合評価 9点

当該会館は、市民文化の向上の中心的施設であり、良好な維持管理は必要不可欠である。指定管理者としてのノウハウを活かし、独自事業の展開、利用者サービスの向上を図るなど、市民満足度向上に努める必要がある。

295104 市民文化会館大規模修繕事業

総合評価 9点

定期的な施設の状況検査から必要な修繕は、施設を有効活用するためには必要である。なお、近い将来発生する修繕における手法等の検討も必要である。

295201 スポーツ・文化振興財団運営補助事業

総合評価 9点

市民のスポーツ活動や文化活動の振興において、当財団の果たす役割は大きく、当該事業の必要性は高い。

295204 芸術祭等開催事業

総合評価 9点

芸術文化活動における市民の発表の場を設定することは必要であり、運営を実行委員会形式としているなど市民との協働に配慮していることは評価できる。

295207 芸術文化啓発事業

総合評価 8点

市民の芸術文化のレベルアップを図り、より芸術活動を活発化することに期待ができ、その必要性は高い。

295301 郷土資料館整備事業

総合評価 8点

歴史的な財産を文化財として、保存し広く紹介や学習するためには必要な施設整備である。

295304 文化財等保存・継承事業

総合評価 9点

先人の足跡を残す座間特有の文化財の保護、保存、継承には、一定の支援が必要である。

295328 市史編さん事業

総合評価 7点

座間の歴史を後世に残していく貴重な文化遺産としての意義は大きい。

295337 「(仮称) 座間の郷の道」道標設置事業

総合評価 9点

ふるさとマップが2千部を超えて販売されており、道案内の道標は不可欠であることから、利用者の利便性を考えると整備を行う必要がある。

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	62.9%	39位/52施策
重要度	2%	44位/52施策

[施策30 青少年育成]


[施策総合評価]


◎ (6.1点)


[目指す姿]

本市の青少年は、学校生活やスポーツ、文化活動を通じ、めまぐるしく変化する社会情勢にも対応して、夢や希望を抱いて積極的な社会生活を送ることのできる自立した大人になるよう成長しています。

[まちづくり指標]

指標1 過去1年間に何らかの青少年育成活動にかかわったことのある市民の割合		現状値						目標値(年度)	
①	単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
			—	—	—	15.4	—	8.8	19
(指標の説明) 平成22年度の市民アンケート調査結果では「ある」と回答した市民の割合は、15.4%でした。この割合を平成32年度までに本施策の推進により21%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 青少年補導員活動、青少年指導員活動、遊友クラブ、青少年センター事業などを通して地域と青少年、異年齢間交流を行っていますが、近年、地域社会での連帯感や人間関係の希薄化が進み、異年齢間が交流する機会が減少しています。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta 117.9\%$ 頑張ろう 									
(今後の方策) 年齢の異なる青少年達と地域の人達が交流できる機会を増やしなが事業展開します。									

指標 2 青少年育成事業の参加者等の 数		現状値						目標値(年度)	
単位:人 (担当課調)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32	
	—	—	9,803	4,726	5,601	4,378	11,381	12,519	
(指標の説明) 小学校ブロック子ども会スポーツ大会や成人式、青少年芸術祭の参加者総数を示しています。									
(現状と課題) 青少年を対象とした事業を積極的に推進していますが、家庭や青少年の価値観の変化は各種事業への参加状況にも影響を与えています。									
②	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 $\Delta 199.7\%$ 頑張ろう								
(今後の方策) 青少年の価値観の変化を踏まえて事業内容を精査しつつ、家庭、学校、地域が連携してスポーツ、文化活動など積極的に体験するための取り組みを行います。									

指標 3 ボランティア活動などを通じた 青少年の社会参加が増えてきて いると思う市民の割合		現状値						目標値(年度)	
単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32	
	—	—	—	22.1	—	15.1	24	26	
(指標の説明) 平成 22 年度の市民アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した市民の割合は、22.1%でした。この割合を平成 32 年度までに本施策の推進により 26%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 東日本大震災は青少年がボランティア活動に参加する意思を持っていることを如実に表しました。非常時はもとより、日常的にも積極的に社会参加ができる環境を整える必要があります。									
③	(進捗度ランク) 進捗度 $\Delta 179.5\%$ 頑張ろう								
									
(今後の方策) 青少年を取り巻く社会状況の変化は著しいものがありますが「遊びの場・仲間・学びの機会」を通して学校、地域、青少年育成団体、行政が連携して異年齢間、地域との交流の場を提供し、ボランティアに参加できる環境を整えます。									

[内部評価]

305101 青少年センター活動事業

総合評価 8点

青少年の居場所としての存在は大きいものがあり、必要性は高いが、青年層の参加が少ないことから事業展開を工夫するなど、さらなる利用促進を図る必要がある。

305110 清川自然の村管理運営事業

総合評価 9点

当該施設は、県等との関係もあり、完全に撤去するまでには、十分な調整等を行いながら手続きを行う必要がある。

305113 清川自然の村施設撤去事業

総合評価 8点

現状復帰するため必要である。

305204 青少年活動育成事業

総合評価 8点

学校週5日制など児童・生徒を取り巻く社会情勢の変化に対応する中で、学校、家庭、地域の連帯という面で遊友クラブの果たす役割は大きく、さらに多くの参加が得られるよう地域の人材発掘、種目の工夫などに努める必要がある。

305207 地域リーダー養成事業

総合評価 8点

野外活動や研修会を通じてリーダーを養成することは青少年の自主的活動の更なる向上に繋がることから、必要性は高い。

305213 地域活動推進組織補助事業

総合評価 8点

学校と地域が連携して、青少年を見守ることにより、青少年の健全育成が図られる。

305304 青少年健全育成大会開催事業

総合評価 7点

市内の青少年の健全育成に関わる諸団体の意思の統一化を講演会等を通して図る必要がある。

305404 青少年相談事業

総合評価 8点

青少年の一般的な相談件数は減少傾向にあるものの心理面での相談は増加しており必要性は高いが、一方、非行の問題などの教育相談との住み分けが難しいことから、統合などの検討が必要である。

305507 文化活動交流事業

総合評価 9点

文化活動を通じて、青少年の健全育成を図るため、芸術文化・発表の場を提供する当該事業の必要性は高い。なお、実行委員会に委託するなど効率的かつ有効的な運用も図っているが、青少年のニーズに合った事業展開の検討が必要である。

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度 69.4% 30位/52施策

重要度 3.7% 36位/52施策